

## 第5回飯山市廃棄物減量等推進審議会 議事録（議事要旨）

- 1 日 時 平成 29 年 12 月 11 日(月) 午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分
- 2 場 所 飯山市役所 4 階 第二委員会室
- 3 出席者 別紙名簿のとおり
- 4 資料等 別添資料等のとおり

### 5 次 第

- ・開会
- ・会長あいさつ
- ・審議
- (1) 答申の内容確認について
- (2) 答申の進め方について
- (3) その他

### 6 議事要旨

#### (1) 答申の内容確認について

- ・本編（案）について

#### <説明（事務局）>

##### 飯山市廃棄物減量等推進審議会答申案について説明

- ・修正点については朱書で表記
- ・目標年次を平成 32 年度に設定
- ・もえないごみが著しく減少した要因として、資料編に「飲料用スチール缶の軽量化」を追加

#### (宮澤委員)

- ・家具や食器類のリサイクルは、大変よいことだと感じています。
- ・エコパーク寒川に搬入された畳を見て欲しいと言う方もいますが、お断りしているのが現状であり、それらのリユースが可能になれば、搬入ごみの重量を減らすには最もよいことだと思います。

#### (佐藤委員)

- ・答申の内容に意見はありませんが、先週末に村で女性が集まる機会があり、前々回のときに聞いたことを皆さんにお話ししました。
- ・子どもが上京し、アパートで一人暮らししている様子を見ると、ごみを分別していないこともあるようなので、親として子どもたちへ伝えていってほしいという話しもさせていただきました。
- ・プラも、「汚れが落ちなければもえるごみにしてもいい」という意識の方と、「頑張って洗ってでもプラで出そう」というのは自分の考え方にもよるかもしれないけれど、できるだけという話しはさせていただきました。
- ・また、「できるだけ生ごみの水を切ってから出してください」という話しをしたところ、

反対意見はありませんでしたが、こういう機会に話しをすることが大切だと思いました。

- ・こういう会議に参加すれば、自然と意識も高まると思います。全員がというのはなかなか難しいでしょうが。

(藤田委員)

- ・小学校4年生くらいになると社会科見学があり、今度も泉台小学校の4年生がエコパーク寒川にお邪魔するようですが、働きかけの一例として、4月当初に市の出前講座の案内を4年生の担任に出してもらおうとよいと思います。
- ・出前講座も、できれば参観日に併せてやっていただくと親も聞くことができます。
- ・学校現場の職員が、無料で自分たちの都合に合わせて来てもらえることを知れば、もっと頼みやすくなるので、その辺の具体的な働きかけを4月にしてもらえると、年間計画を立てる上でもありがたいと思います。

(丸山(す)委員)

- ・6年生の孫がいるのですが、先日、学校で買い物学習があり、ツルヤへ行ったようです。
- ・ツルヤではトレイとペットボトルを回収しているので、それを持って分別する場所へ入れてきたそうです。
- ・子どもたちも、こういうことを今のうちから知るにはよい機会だったと思いました。
- ・資料には統計もありますが、ごみの減量はなかなか難しいという感じを受けています。
- ・自宅では、「ごみを減らすにはまずは分別から」といってやっていますが、それが大勢に伝わり、皆が舵を取ってくれたら、もう少し減っていくと感じています。

(南沢委員)

- ・答申書はよくできていると思います。
- ・一人一日800グラム以下にするのが目標ですが、家庭系ごみは色々なことの普及で減ると思います。
- ・事業系ごみは、何もしなければ逆に増えてしまうことになります。240グラム減らすとありますが、基本方針では一人一日800グラム減らすとなっているので、事業系ごみはまた別なのかと感じました。前の答申では、平成23年度に対して平成28年度実績で10%減というものがありませんでした。

(事務局)

- ・それは、事業系ごみと家庭系ごみを分けず、全体で10%ということでした。
- ・今回は、800グラムに減らすため家庭系と事業系に区分して目標値の設定をしていますが、事業系ごみ減量の具体的な進め方はうまく表現できない部分もありますので、これから詰めていかなければならない部分だと思います。
- ・事業系ごみは、商売の形態によって違ってくると思いますが、共通して言えることは、事業の上では事務系の仕事がありますので、どうしても紙ごみは出ます。
- ・手始めは紙ごみを中心にして、業態の違う業者に対しての取り組みは、これから研究が必要と感じています。

(渡辺委員)

- ・数値の点ですが、2ページの表は平成27年度ですが、6ページの表は28年度の表となっ

ています。ここは、できれば最新の数値が分かればよいと感じました。

(事務局)

- ・ご指摘の2ページの表は平成27年度までの数値を掲げてありますが、これは環境省で実施している調査結果で、平成28年度の数値はこれから確定することになるため、公式データでは平成27年度となります。
- ・チャレンジ800に係る部分については平成27年度を基準とし、それ以外は平成28年度と捉えていただきたいと思います。
- ・「I基本方針」のところも、「平成27年度の処理実績を基準とし」とありますが、これは全体に係るものですので、ここは修正前の平成28年度のままの方がよいでしょう。
- ・そのうち、チャレンジ800については平成27年度までの実績しか出ていませんので、それは平成27年度を基準にさせていただきたいと思います。

(高橋職務代理)

- ・事業系のごみについては、紙をシュレッダーにかけるか、かけずに資源に回せるかどうかで、ちょっとした工夫さえすれば、できてくることだと思います。

(事務局)

- ・答申案に大きな異論が無ければ、これで決めさせていただきたいと思います。

(丸山会長)

- ・どうですか、皆さん。

<特に意見なし>

(事務局)

- ・ありがとうございました。

## (2) 答申の進め方について

<説明(事務局)>

### 飯山市廃棄物減量等推進審議会 答申について説明

(事務局)

- ・答申日程の候補日について申し上げます。(候補日を説明)

(丸山会長)

- ・では、1月11日(木)午前11時からでどうでしょうか。

(事務局)

- ・会場は三階の31号会議室になると思います。日程を秘書に確認しまして、改めて通知でご案内します。

(丸山会長)

- ・では、この日程で進めさせていただくことになると思いますので、よろしく願いいたします。本日はありがとうございました。